



南高

進路だより

律・啓・創
HOP! STEP! JUMP!

11月

平成29年11月1日
福島南高・進路指導部



11月の行事予定



- | | |
|--|--|
| <p>1日(水) 進研学力総合テスト(2年)</p> <p>2日(木) 進学推薦会議④</p> <p>3日(金) 進研学力総合テスト(1・2年)
第3回ベネッセ駿台マーク模試
(3年)～11/4</p> <p>5日(日) 第2回英語検定(2次試験)</p> <p>7日(火) 南高へ行こう
①⑥+学習活動発表+④⑤
PTA進路講演会(15:10～)</p> <p>8日(水) 第2回サイエンスセミナー(文理科)</p> <p>12日(日) 全商珠算・電卓検定</p> <p>13日(月)～日商簿記検定対策講座～11/17
修学旅行結団式(2年)</p> | <p>14日(火) 修学旅行(2年)～11/17、木曜日の授業
職業体験を聞く会(1年/⑤⑥カット)</p> <p>16日(木) 火曜日の時間割
進路指導部会⑬</p> <p>19日(日) 日商簿記検定</p> <p>22日(水) 大学入学共通テストプレテスト</p> <p>26日(日) 全商ビジネス文書検定</p> <p>27日(月) 後期中間考査～11/30</p> <p>12/2(金)～3(土) 全統センター試験プレ
(3年)</p> <p>12/5(木) 進学推薦会議</p> |
|--|--|

センター試験 1月13日まで・・・あと73日

1年生へ 平日の学習時間(第2回スタディサポートの結果)

	校内 今回)	前年	前回	難関 国公	国公立 ブ ロック
ほとんど しない	26	15	1.5	11	13
30分	21	19	3.5	11	12
1時間	25	31	14	18	20
1.5時間	17	23	16	16	17
2時間	9.5	11	39	26	25
3時間	2	0	21	16	12
4時間	0	0	5	1.8	1.3
5時間	0	0	1	0.5	0.3
5時間	0	0	0.5	0.1	0

左の表を見てほしい。前回は入学前の春休みだったので、比較するのはどうかと思うが、30分までの学習時間の生徒で、全体の47%はあまりにも多くないか(昨年現2年生は34%)。ほとんどしない生徒が1/4を占めている。① 難関国公立大学(東北でいえば東北大学)、② 国公立ブロック(新潟・千葉など)に実際に合格した人が、この時期どれくらい学習していたかの数字と是非比較して欲しい。2時間以上の学習時間を確保していた人が①で44.4%、②で38.6%、君たちはわずか11.5%である。

将来やりたいことが見つからない、一つに絞ることができない、等で悩んでいる生徒もいるのかもしれない。その人は、学びたいこと、今の科目の中で、何を勉強しているときが一番楽しいかを考えてみよう。もっと深く学んでみたいと思えることはないのか。

すでに決めている生徒は、スタディーサポートや模試の成績推移から、進みたい方向に必要な科目の学力の伸長に努めなさい。苦手科目の勉強を避けている者で、自分の学びたい方向が苦手科目と合致している生徒諸君は必死になって克服する努力をなさい。2年・3年になってやろうとしても大変なのだ。

「10年後の自分」を思い描き、今の自分から逆算させる。「社会人として生きる上で必要な力、スキル」「希望する大学に入学するために必要な学力」「自立して生活するために知っておかなければならない知識」など、いくつかの種類に分けて書き出し、だから今、この勉強をしなければいけないと自分で計画を立て

なさい。

1月27日（月）からは後期中間考査が始まる。今学んでいる全ての教科・科目が君たちの考える力になる。今何をするのが、自分にとってより良い人生になるのかを考えて取り組みなさい。苦しみから逃れても、それは一時的なものではない。自分の人生を狭くするな。

2年生へ ー志望校を考えようー

◎ 志望校は決まっているか？（第2回スタディーサポートの結果）

	校内 (今回)	前年	前回	難関国 公立大	国公立ブ ロック大
いる	36	44	25	74	68
いない	42	33	55	26	32
就職する	20	21	18	0	0
その他	1.5	1	2	0	0

左の図は志望校を決めているかどうかの質問に対する答えである。第1回目から志望校が決まった人が11%増加したが、決まっていない人はまだ42%と多い状態である。昨年の2年生（現3年生）は同時期に44%が決まっていた。

難関大、ブロック大に合格した人の65%以上がこの時期志望校が確定していたことを考えると、**早めの志望校決定が合格を勝ち取る近道**なのではないか。志望校は今の自分の学力にあっている所ではなく、高いところに設定した方がよい。必死になって頑張るといふ姿勢が生まれてくるからだ。志望校の絞り込みにあたっては、ご両親とよく相談しなさい。受験期が近づいてきた時に、「ええ、そうだったの？」となるのは避けてもらいたい。志望校が決まったら、途中で妥協することなく、受験勉強に邁進してほしい。

ところで、君たちは3年生になる自覚は生まれてきているか？部活動では中心になることを自覚しながら、勉強ではまだまだという意識では遅すぎる。2年生がセンター試験を受験するまで、あと「430日」位しかないのだ。まだ先と思っている人はここで意識を改めてほしい。11月から進研模試は、理科社会を含む5教科がスタートする。まずはバランスの取れた成績が取れるように努力せよ。結果が返ってきたら、自分のできないところ、弱いところを必ずチェックして、解説書を読み込んで、その克服に努力せよ。解説書でも理解できないときは教科担当に積極的に質問に行きなさい。そして、分からなければ、勉強の仕方を教えてもらいなさい。**今の時期に決して受験科目を絞ってはならない**。3年生になって、受験に必要な科目が増えた時に対応できなくなる。また、希望校が変わった時に、受験できる大学が限定されてくる。

進む方向性が定まった生徒は、今の興味関心のある分野を広げることも重要になってくる。読書することは学びの深さを知ること、そこから知の世界を広げてくれることになる。

3年生へ ー現役生はここから伸びるー

今、推薦入試を受ける生徒の指導が佳境に入っている。毎年のように嘆くことがある。志望理由書が書けない。面接練習では自分のことを語れない。大学に入ってやりたいことがしゃべれない。小論文では、自分の意見が出てこない。3年間、いったい何をしてきたのか？ 推薦入試本番をこれから迎える諸君、残された時間を有効に使い、合格のために全力を尽くせ。そして、受験が終わったら一般入試に向けて切り替えてください。可否は約束されていないからだ。失敗することもあるので、その時に備えておきなさい。一度ぐらいの挫折で挫けるな。すべてが順風満帆でいく人生など、あり得ない。苦境・挫折があつて人を強くしてくれる。更に、高慢にならずに、人を謙虚にもしてくれる。自分の弱点を知り、自分の弱点と対峙し、克服しようとする勇気が湧いてくるはずだ。これから国公立大学を推薦Ⅱで受験する生徒諸君、志望理由書をさっさと仕上げ、センター試験対策に専念せよ。志願倍率にもよるが、センター試験の出来具合が可否を分けるポイントだ。進路が決定した諸君は、すべきことを「行動」で表せ。授業に身の入らない者、授業中寝ている者も見受けられる。合格してそれで終わりではないことを自覚すること。君たちは推薦するに相応しいとお墨付きをもらった諸君なのだから。そして、一生懸命勉強している友を絶対邪魔することのないように。

10月の記述模試は、マーク試験とドッキングさせて、可否判定を見通すための模試であった。夏以降の学習の成果を確認するための模試であった。全統マーク・全統記述模試と続いたが、自己採点はどうだったか。成果が表れず、うな垂れていないか？ **「現役生はここから伸びていく。」** 模試結果を受けて、そこから合

格に必要な点数をどう積み上げていくかを考えることが大事である。先月号でも同じことを言ったが、本番の入試では満点は必要ないのである。志望校合格のためにあと何点必要かを考えて、どう伸ばしていくか、計画を立てよ。特に、演習の時期に入っている英語・数学は、自分の目標にどれだけ近づけたかを確認しておきたい。理科社会は、今、仕掛ける時期である。重点を置いて勉強せよ。伸びしろはまだまだある。得意教科が君を救ってくれる例を今までたくさん見てきた。ここが正念場である。



「学びの森」終わる！

10月5日・12日の2週続けて、2年生対象に「学びの森」が実施された。今年も様々な研究分野から講師をお呼びし、君たちに学びの入り口を体験してもらった。下記に感想の一部を載せておきます。なぜ、「学びの森」というテーマであるのか、を考えるとよく分かるはずです。「森」の中をさまよい、「学びの醍醐味」を味わえ、ということだからです。

これから医療の道に進むためには、人間性を高めることが必要になってくると思いました。そのためには、世の中の動きを理解したり、感性を磨いていくことが大切だと聞き、今の高校で、様々な人と触れ合い、本などを読んで将来的に幅広く、子供から老人の方までコミュニケーションの取れる人間になりたいと思いました。患者さんの日常生活面を考え支えるというのが看護師の役目であり、それを実行するにあたって、先ほど述べた人間性を高めることが重要になってくると分かりました。

湯布院の場合は、リーダーの存在と固定された意志が町づくりの成功を導いたのだと思います。リゾートマンション建設を阻止する条例を作成した企画課長や東京から来た訪れた業者に大金を積まれても土地を売らなかった農家らが「町を守りたい」という一つの意志でまとまっていたからこそその結果だと思います。リーダーの行動や指示がとても重要だということが分かりました。どれだけ優秀な部下がいてもどれを動かすのはリーダーの役目です。もともと経済や経営に興味がありましたが、今回の講座を聞いてさらに関心を持てるようになりました。

星を鏡を見てなぞる活動をしたとき、なぞってくださいと言われた時より、星を描いてください、と言われた時の方がうまくできた。それは明確な課題を意識したから、と言っていた。集中してください、という言葉には明確な課題がなく、集中するためにどうするかが大事と言っていて、とても納得できた。褒め方も大事で、①才能があるね、②とても熱心にやっていたね、と声をかけたとき、②の方が長期的に見たときの成績も上がる。それは、①は才能を褒めているから自分は才能があることを否定されないため、失敗しないように取り組む。②は努力を褒めているから、もっと努力して難しい問題にも取り組み、向上していく。スポーツを色々な面から見ると、より深いことが分かり、心理状態も分かり、楽しかった。

コンピューターが進化していけば、今あたりまでだと思っていることがひっくり返ることもありうると思ったこと、CGによって本物より本物に見える画像を作ることができるようになり、建築への応用もされていることを聞いて、想像もできないことが実現される、しているのではないかということからある種の恐怖を感じてしまった。先生に本物より本物が作れることについて質問をした。コンピューターにしかできないものを作って、今では本物に似せることがすべてではなくなってきていて、本物の本物と似差別化をしている、という回答をいただいて素直にとっても納得できた。

就職する上で、今から働く目的や自分について知ること、職業について理解すること、自分が求めるものの優先順位をつけることが大切だと感じました。自分を知るには、プラスの部分から探すことが大切で、どうしても見つからない時は、短所の部分の見方を変えて長所を見つけることが大事だと知りました。また、企業が求める人材は、コミュニケーション能力、協調性、基本的な生活態度、積極性、チャレンジ精神のある人だということも知ることができました。

法律学とは理由と論拠でなぜそうなるのか説得力を持たせる「倫理的思考」が必要だと改めて知ることができた講話でした。今回は主に知的財産権についてでしたが、私はその中でも著作権と特許権の説明がとてもためになりました。今回の講話でさらに法について興味がわいたので、ブラックバイトやNHKの集金など身近な問題について調べたり、過去の裁判例を見て少しずつ法に接していきたいと思えます。そして、来年からは選挙権を有する者として、大人の一員として、投票に参加したいと思えます。

今回の講義は、初めに“英語は手段でしかない”から始まり、その理由について、今世界的な時事問題となっている朝鮮をテーマに展開されました。先生がおっしゃった通り、今でこそミサイルや拉致で有名になっていますが、その他に北朝鮮について知っていることは隣国であるにも関わらず、怖い、危険な国というイメージしか湧きません。なぜなら、ニュースを見ている限り、モンスター国、金代表らの最悪な独裁制という印象しか持つことができない。最近話題となった北朝鮮についての国連でのアメリカ、日本の演説を報道されたものより、長く訳を聞いて、どんな内容のことが話されたのか、より深くしっかりと理解することができました。日本にいと、日本語や日本の報道のフィルターによって気づけないが、先生の言うように英語を使って一歩引いた視点から見ると、ガラッと違った見方ができるようになり、より深く世界について知ることができると思いました。

今回の講座を聞き、幼児教育にかかわる保育者は、幼児の成長過程にかかわる大切な職業だということを知り、ただ、「小さい子がかわいいから保育者になりたい」のような、軽い気持ちでなれる職業ではないことを実感しました。幼児教育を受けることで、地震・意欲・思いやりに対する価値が変わり、その子のその後の人生に大きく影響することを学びました。幼いころ憧れていた保育者とは違い、奥が深く、難しく考えさせる職業だと思います。

心理学の進路は、スクールカウンセラーくらいしか思いつかなかったが、警察官、教師、社会福祉士、心理職、福祉職の地方公務員、家庭裁判所、法務省の国家公務員などたくさんあることが分かった。個人的に質問したのですが、犯罪者、特に快樂殺人犯、少年非行を犯した人の精神鑑定に元々興味があったので、今日を機会に実現を目指してみようかなと思いました。

介護福祉について、「存在価値とは何か」という題が出た。高齢者で寝たきり、本人は死にたいとまで思っていたら存在価値はないのか？私はそこに幸せづくりの福祉が必要になるのだと思った。ケアをする職員がいるのだから、その高齢者は存在価値があるという話だったが、それでその高齢者は利用されるだけと考えた。私が考えた高齢者の価値は「出会い」にあるように思う。その人がいないと互いの出会いがなくなるのだと思う。福祉士が幸せづくりをするために存在し、幸せづくりのため、そこから幸せになるためにその人が必要なのだ。

東北はお米が盛んに作られているのに、そのお米を食べないなんてもったいない。「お米は炊くのに時間がかかる→炊かなくても食べれるおコメ加工食品」という考えが素晴らしいと思った。学生に求められる能力は、研究に対する意欲、開発するための市場調査力やセンス、パッケージデザインを考える発想力、食品を検査するにあたっての化学や生物の知識など多くの要素がある。それでも日本の食料自給率を上げるために行動することは素晴らしいと思った。私も日本のためになるような研究開発をしてみたいと思った。

世界自然遺産に登録された小笠原諸島について、現地の人から見れば、自然を守ることで制限が増えたり、人の出入りが増えることで、外来種が増えたりと当たり前前の自然が、国や中心機関によって特別なものにされることは望んでいないのではないかと考えさせられました。世界遺産の目的は、普遍的な価値があるものを未来に残すことですが、それを残すために自然を保護するということがローカルな価値観になり、さらに発展してグローバルな価値観から普遍的な価値観になることを踏まえて、ローカルな場から批判的に見るのが大切だと思いました。

就職内定者続々と（22名）

マスコミなどの報道では、高卒の求人倍率はバブル期並みの高倍率となっているようだ。本校の就職希望者は、多くの生徒が事務職を希望している。見かけ以上に厳しい就職戦線となっている中、ここ（11/1）までに22名の内定をもらっている。ここまでの生徒諸君の努力の成果である。内定先は次の通りである。

(株)ヤクルト本社福島工場、(株)ヴァーナル東北、税理士法人寺田共同会計事務所(2)、福島信用金庫
トモト電子工業(株)、ふくしま未来農業協同組合(4)、(株)福島銀行、日本郵政(株)東京支社
公益財団法人福島県労働保健センター、伊達物産(株)、(株)菅澤建設、福島キャノン(株)、東開工業(株)
(株)ニチノーサービス、NOK(株)福島事業場、アイリスオーヤマ(株)、不二家サンヨー(株)
アサヒ電子(株)